

令和元年度第1回浦安市行政改革推進委員会 会議録

○日 時／令和元年7月 29 日(月) 14:00～15:30

○場 所／市役所4階 S3会議室

○出席者／寺村委員、深谷委員、李委員、松本委員、根津委員、岩田委員、宮川委員、男全委員

○事務局／大塚総務部長、佐藤総務部次長、斎藤主幹、久木主任主事、戸邊主任主事、平石主事

○議 題／・職員提案制度について
・令和元年度事務事業点検について

1. 開会

2. 議題

(1) 職員提案制度について

本市の職員提案制度について、これまでの制度及び、今後検討している制度について事務局より説明を行った。

委 員： どのような提案が褒賞を受けたのか例を教えてください。

事務局： 平成 30 年度は順位付けを行っていないが次のようなものがあった。

(実績提案) 窓口への案内カードの設置、係内での朝礼の実施

(アイデア提案) トイレへの消毒液の設置、スキルアップセミナーの開催など

事務局： 昼休みに浦安市民の歌を流しているが、これも職員提案の結果である。内部組織では職員提案の役割は終わっているとの意見もあったが、職員の提案・改善意識の向上のため継続するものとした。

委 員： アイデア提案の審査結果に対して職員へ回答をしているのか。

事務局： 現状ではすべて提案賞を与えている。今後の運用は検討中である。

委 員： 提案を次につなげるのが大事である。受ける側がまた提案したいと思えるよ

うな仕組みにするのがよい。

委員： 市長賞以外でも、例えば委員会賞など、もう一つくらいの賞があってもよい。

委員： 職員提案制度は有意義である。職員提案の内容を市民にHP等で公開していくのがよいのではないか。情報を出していくと市民だけでなく、職員も提案を考えるきっかけになる。

委員： どのような媒体で職員提案を受け付けているのか。

事務局： メールで出してもらうのが基本であるが、電話や写真の送付など広く受け付けている。

委員： 試行実施期間に提供している褒賞品が魅力的に感じるかは人によるので、商品ではなく、金券の方がよいのではないか。実際に職員の意見を聞いて、やる気の出るものを褒賞として提供してはどうか。

○褒賞金額及び制度名称にかかる各委員の意見

委員	褒賞金額	制度名称	コメント
委員	1-2万円	事務事業改善提案制度	・ 企業のQCサークルでは人事評価でプラスの評価をするというのものもある
委員	—	事務事業改善提案制度	・ お金ではなく、人事評価につなげるのがよい
委員	5万円	「事務」に限定しないもの	・ 職員が良い提案を出したら報いるという姿勢を示すため、少し高額でもよい ・ 名前はいずれでもいい。職員のやっていることを市民に伝えるということで、名称を考えるべき
委員	3万円	市民サービスの向上のニュアンスを込めたもの	・ 人事評価や広報等での評価をすると良い
委員	1-3万円	「事務」に限定しないもの	・ 改善は仕事の一貫であるので、褒賞よりも人事評価に反映させると良い

			<ul style="list-style-type: none"> ・ グッズよりは、金券の方がインセンティブにつながる ・ 市長賞一本よりも、複数の人が評価される制度がよい
委員	1-2 万円	「事務」に限定しないもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人だけでなく、課で評価される方が、業務の連帯感が生まれてよいのではないか
委員	多くて 5 万円。平均 2 万円	事務局で検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果が本当に出たのであれば高額でも良い
委員	—	「改革」はやりすぎ 「職員」提案という言葉があるといい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事評価など内的な褒賞で紐づけていったほうが長期的な改善につながる

事務局： 人事評価にはどのように反映すればよいのか。

委員： 人事評価の点数に加点できないか。企業ではポイント制として加算しているケースもある。

(2) 令和元年度事務事業点検について

本年度の事業点検における 1 次点検の結果及び、2 次点検の実施方法、昨年度継続事業の進捗状況について事務局より説明を行った。

委員： 公園トイレの主たる施設とは何か。公園トイレの衛生面や公園施設の安全面は点検するのか。

事務局： 主たる施設は公園で、今回の点検では建物を対象としていることから公園は対象外である。公園トイレは各所管課において日々チェックをするものである。

委員： 公共施設の点検については、効率性や公共性の観点から削減するだけでなく、必要なものには注力するなどプラスの視点で点検してほしい。

委員： 継続事業について、若者を対象とした業務の改善が少ない印象。若者向け

に職業体験や学習室の提供などの事業を実施すると市に対する関心も変わるのではないか。

事務局： 今回は昨年度点検した事業の中で、見直しする事業等の進捗を確認するものであり、若者を対象とした業務等は対象外となっている。

委員： 交通安全つえの配布については、65歳に引き上げとなっているが、70歳まで引き上げてもよいのではないか。

事務局： 他の高齢者サービスとの整合を図り、65歳としたところである。

委員： 「その他」と評価されているものはどのように考えているのか。

事務局： 事業によって状況が異なるので、「改善・改革が完了した」「進捗している」「進捗していない」以外の項目として「その他」がある。最終的にどのように整理するのか、今後、考えていく。

委員： 改善の期限はどのように考えているのか。

事務局： 来年度の予算編成がいったんの期限と考えている。

(その他事務連絡)

次回会議は9月下旬に実施予定である。内容は、新規事業の点検結果について意見をいただく想定である。

3. 閉会

(15時30分終了)